



所在地

川崎市川崎区浮島町7-4

工場敷地

約 48,025.09m²

従業員数 (2024年6月現在)

45名 (男性37名 女性8名)

京急川崎駅

→京急電鉄大師線 大師橋駅

→臨港バス乗車

東亜合成川崎工場前 下車すぐ



- 1969年 川崎有機株式会社設立
塩化ビニル（PVC）樹脂、塩素系溶剤の製造
- 1983年 塩素系溶剤の製造中止 （再構築による）
- 1993年 ATBS製造開始 （日本初、世界で2番目）
- 2000年 三菱化学（株）と合併会社ヴィテック（株）を設立
- 2002年 ATBS-Na（ATBS水溶液）設備稼働
- 2005年 ATBS造粒設備稼働
- 2010年 ISO9001とISO14001を取得
- 2011年 ヴィテック（株）解散、東亜合成(株)川崎工場となる

1. 塩化ビニール樹脂（PVC）

2. ATBS

▶ 塩化ビニル樹脂 (PVC)

「塩」から生まれる！？プラスチックの原料
安全・安心な暮らしに必要不可欠な素材

- ・インフラ関連（水道水を通すためのパイプ、電線の補強）
- ・自動車・住宅の部品（カーテン、壁紙）
- ・日用品（食品ラップ、消しゴム、ボールペンのゴム部分など）
- ・医療用用具（輸血バッグなど）



ーPVCが社会に果たす役割ー

〈食品を守る〉



〈安全な水道水の供給〉



〈命を守る〉



〈安全な電力供給〉



▶ ATBS

日本初の製造メーカー。現在も国内で2社のみ製造！

- ・ 石油採掘剤→石油の回収率アップ！
- ・ 化粧品、湿布、食料品の増粘剤→身近な場所でも活躍！
- ・ 水処理剤→排水の汚れをまとめる！

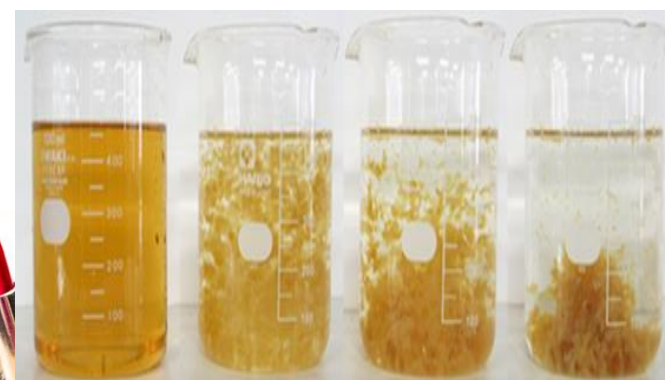
〈石油採掘剤〉



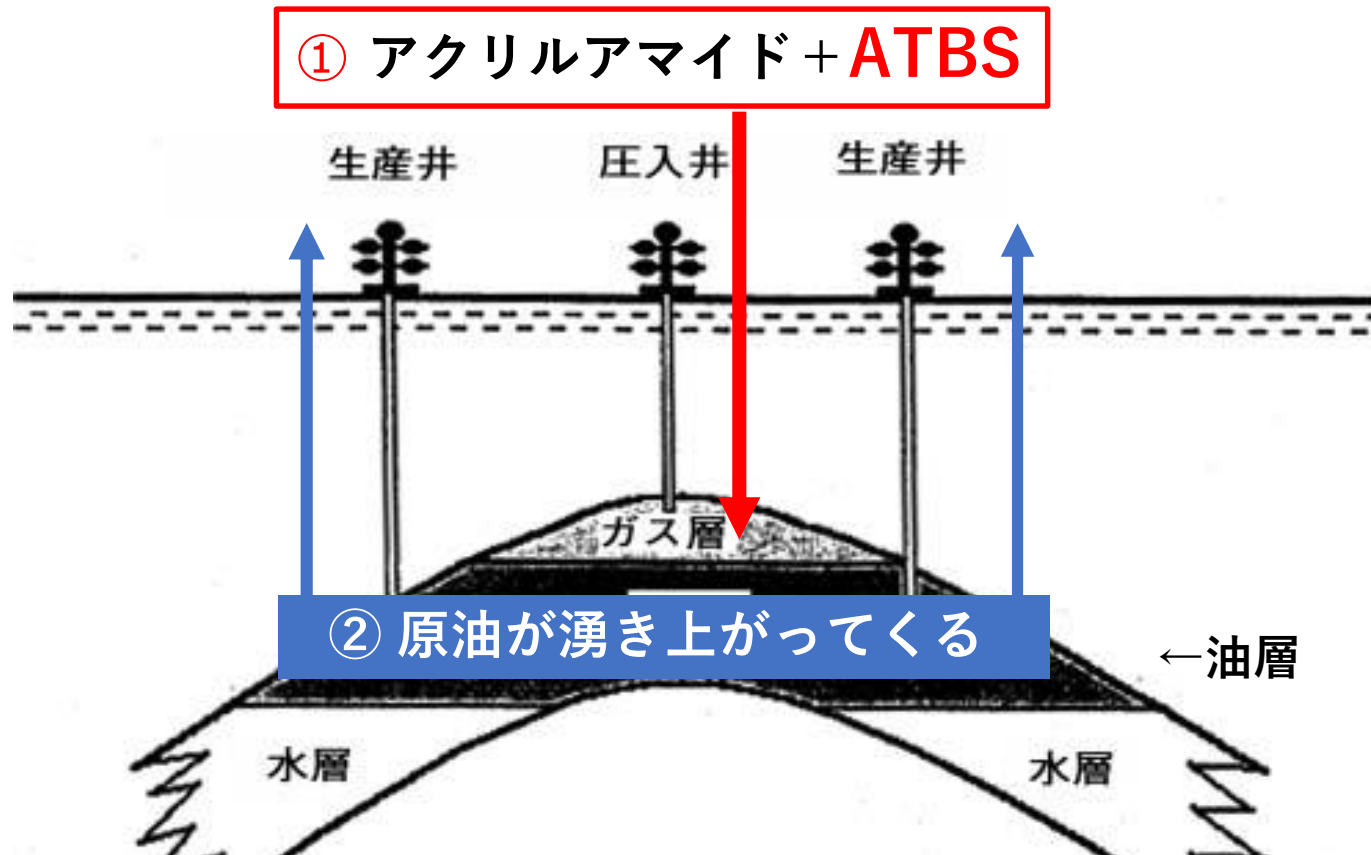
〈化粧品〉 クリーム・口紅



〈高分子凝集剤〉



▶ 原油増進回収法でのATBSの利用



圧入井から①を流すと、
生産井から油が押し出されて湧き上がるしくみ

PVC製造プラント



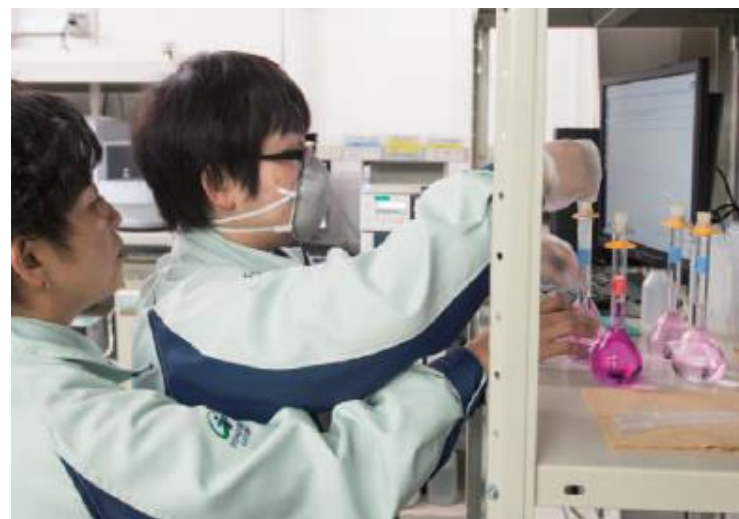
管制室（2019年 DCS更新）



ATBS製造プラント



分析作業の様子



川崎工場では、東亜合成グループのCSR方針に基づき、地域に信頼される工場をめざして様々な活動を展開しています。

【CSR方針】

- ・ステークホルダーを重視した経営の充実を図る。
- ・コンプライアンス（法令遵守）の徹底に向けた活動の推進を図る。
- ・内部統制およびコーポレート・ガバナンス（企業統治）の向上を図る。
- ・RC（レスポンシブル・ケア）活動の充実を図る。
- ・社会貢献にかかわる活動の推進を図る。



工場清掃



防災訓練の様子①



防災訓練の様子②

（社会貢献活動例）

産業道路クリーン化キャンペーン（工場周辺清掃）

かながわ森の町内会（間伐材サポーター）

浮島共同防災中規模防災訓練（協力：浮島共同防災組織）

会社理念

素材と機能の可能性を追求し、
化学の力で新しい幸せをあなたへ届けます。



東亜合成（株）川崎工場
〒210-0862
川崎市川崎区浮島町7-4
TEL 044-277-2211